



元旦
家長は川端で「若水」を汲み
雑煮をつくる。
一年のはじまりにも
やはり水がある。

高島は「水の都」。
安曇川の伏流水は
ゆたかな湧水となり
多くの家がそれを引き込み
「川端^{かぼた}」として使っている。
豆腐を冷やしたり、
洗い物をしたり、
美しく使われながら
家々をめぐっていく。
その水には
多くの生き物が棲む。

棲む、水

